

磁気応用製品事業及び フィルム応用製品事業について

専務執行役員
小林 敦夫

記録デバイス

●HDD市場

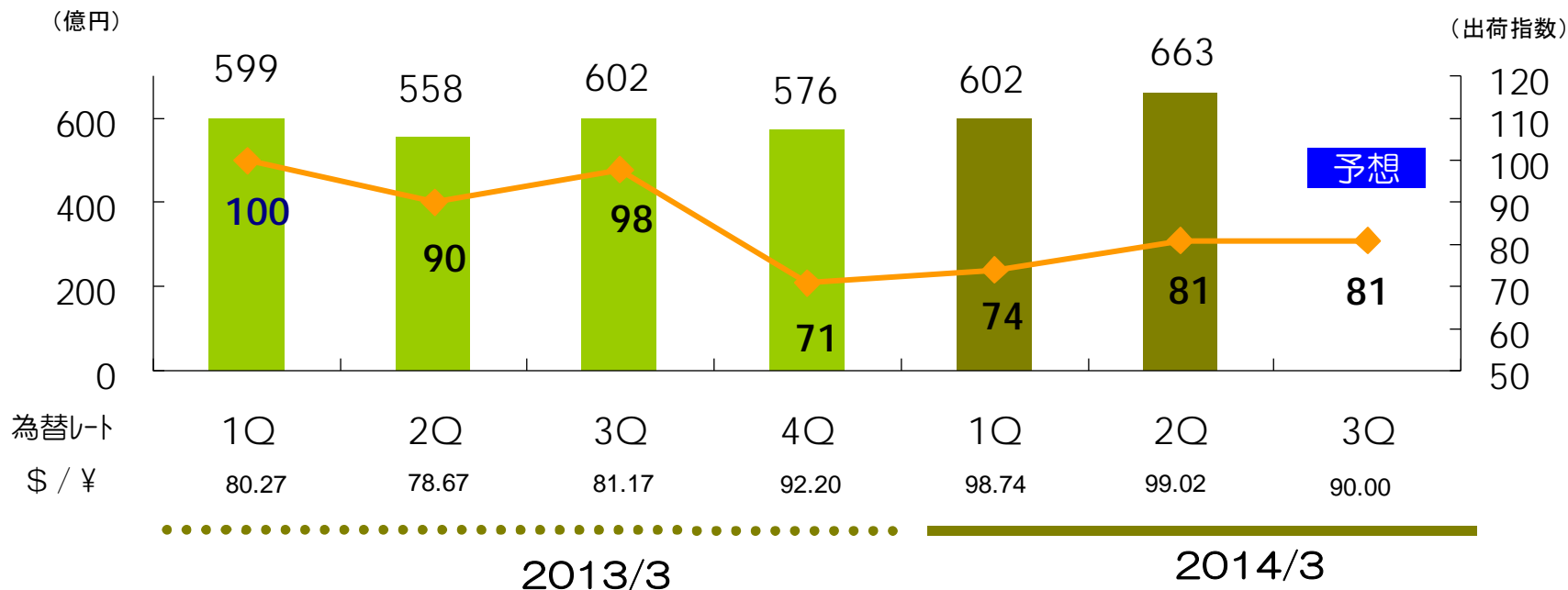
2013年3月期：約5.7億台（当社推定）

2014年3月期：約5.4億台（当社予想、7月末時点見通しから0.1億台増加）

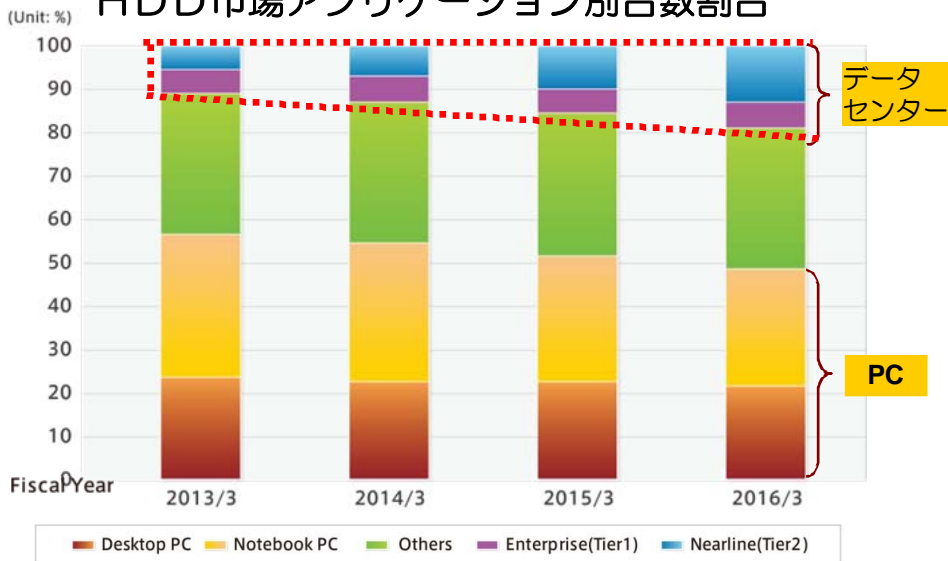
●出荷数量増減

■ 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド及びHDD用サスペンションを含む）

◆ ヘッド（HGA）数量出荷指数（右軸、2013年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



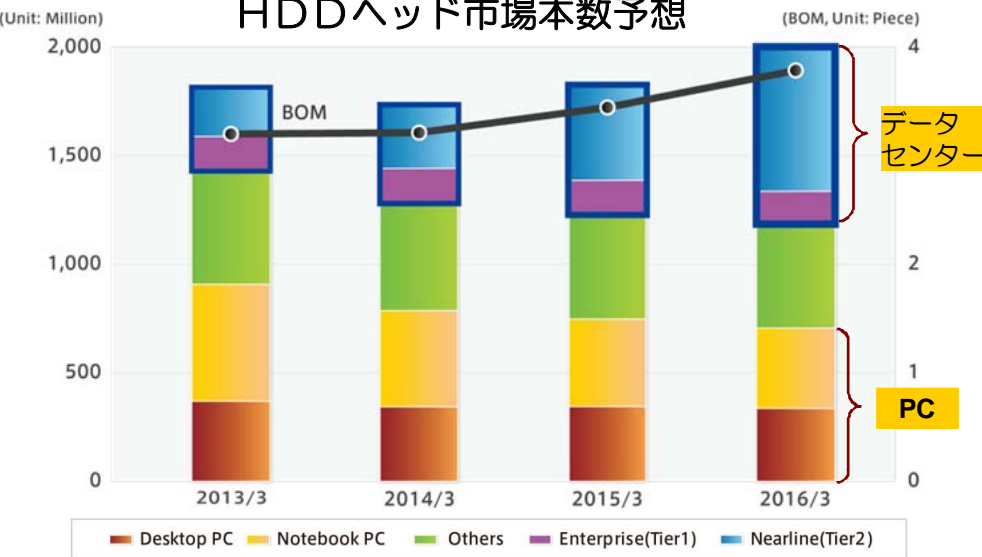
HDD市場アプリケーション別台数割合



- HDD数量は今後2~3年横ばい
- HDD市場内のアプリケーションは変化
→PC市場縮小、データセンター市場拡大
- データセンター市場で使用されるHDDは HDDヘッドの使用本数が多い (8本~10本)
※PC向けHDDヘッドは1本~4本



HDDヘッド市場本数予想



HDD1台当たりの
ヘッド使用本数は
今後拡大

(2013年10月時点TDK推定値)

その他磁気応用製品

●マグネット

- 市況回復遅れ（HDD、産機向け）
- 4Qから1Qにかけて海外生産拠点集約（欧州合弁工場、中国委託工場）
- 1Qに拠点集約に伴う一時費用発生
- 2Qに拠点集約後（中国）の立上げ遅れ、収益改善遅れ発生

➤レアアースフリー磁石の拡販

Dyフリーネオジウム磁石

レアアースフリー高特性フェライト磁石

➤生産性改善による収益性向上

フェライト磁石（湿式）の中国一貫生産

フィルム応用製品

● エナジーデバイス（二次電池）

◇ 事業環境（リチウムポリマー電池）

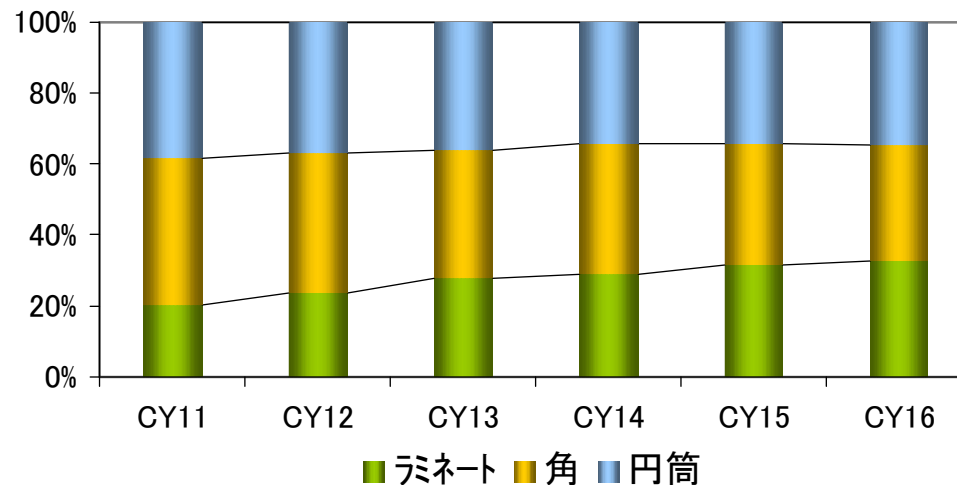
✓ リチウム電池構成比25～30%

✓ 出荷数量年率二桁以上成長



モバイル/IT端末向けポリマー比率急速拡大

民生用リチウムイオン電池タイプ別セル出荷数量（構成比）



（2013年10月時点TDK推定値）

◇ 中長期の方向性

✓ 垂直統合モデルの構築により事業基盤を強化し市場からの変化・要求に柔軟に対応

✓ 事業領域の拡大

- 環境対応自動車向け電池
- 蓄電用電池

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/2q_1.htm